

防災・BCPアップデート講座 (9)

平時におけるBCP活動

①事前対策の進捗管理



【講師略歴】

BB.univ 学長 WOTA株式会社 防災・BCP担当室長 森 健

- ・1966年東京都出身。開成高校・慶応義塾大学法学部卒業。
- ・静岡県下田市役所、静岡県庁防災局出向(現:危機管理部)を含め、約12年間地方自治体で実務経験を積む。その後企業へ転職。
- ・自動車部品グローバルメーカーである住友電装株式会社においてグローバルなリスク管理体制の再構築を手掛けるなど、複数社で管理職としてリスク管理・危機管理の指揮をとる。
- ・2019年9月よりWOTA株式会社総合企画室長に着任。
- ・2020年9月よりBBuniv学長に就任。

BCP(業務継続計画)第1版の策定

BCP策定メンバー人選・全庁的な策定体制構築

被害想定の整理と業務遂行に対する影響評価

被害軽減策(事前対策)

初動対応戦略(危機管理)

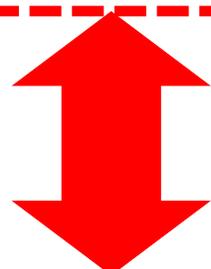
↑ BCP上の行政課題

1. 全庁的な策定体制を組む必要性

- BCP(業務継続計画)は**全部署・全業務について**必要な備えである。
(業務について優先順位は付すものの、
最終的には通常体制への移行が目的)
- BCP策定過程を通じて、これまで見落としてきた様々な**自然災害対応上の行政課題**を、**全庁的な視点で洗い出す**ことが重要

どのように行政課題を洗い出すか？

自然災害の被害想定



行政課題(対応能力不足)

現状の対応能力

行政課題(対応能力不足)整理の視点

- ハード対策、ソフト対策
- コストの大小
- 課題解決自体の必要性

被害軽減策(事前対策)例①

～地震災害の場合～

- 公共施設の耐震化、住宅の耐震化促進
- 津波避難ビルの指定、津波避難タワーの建設
- 浸水想定域外への集団移転(事前避難)
- 消防等の組織力強化、各種最新装備の導入
- 庁舎の浸水域外への移転 など

現実の課題や対策の優先順位は、

自治体により異なる

被害軽減策（事前対策）例②

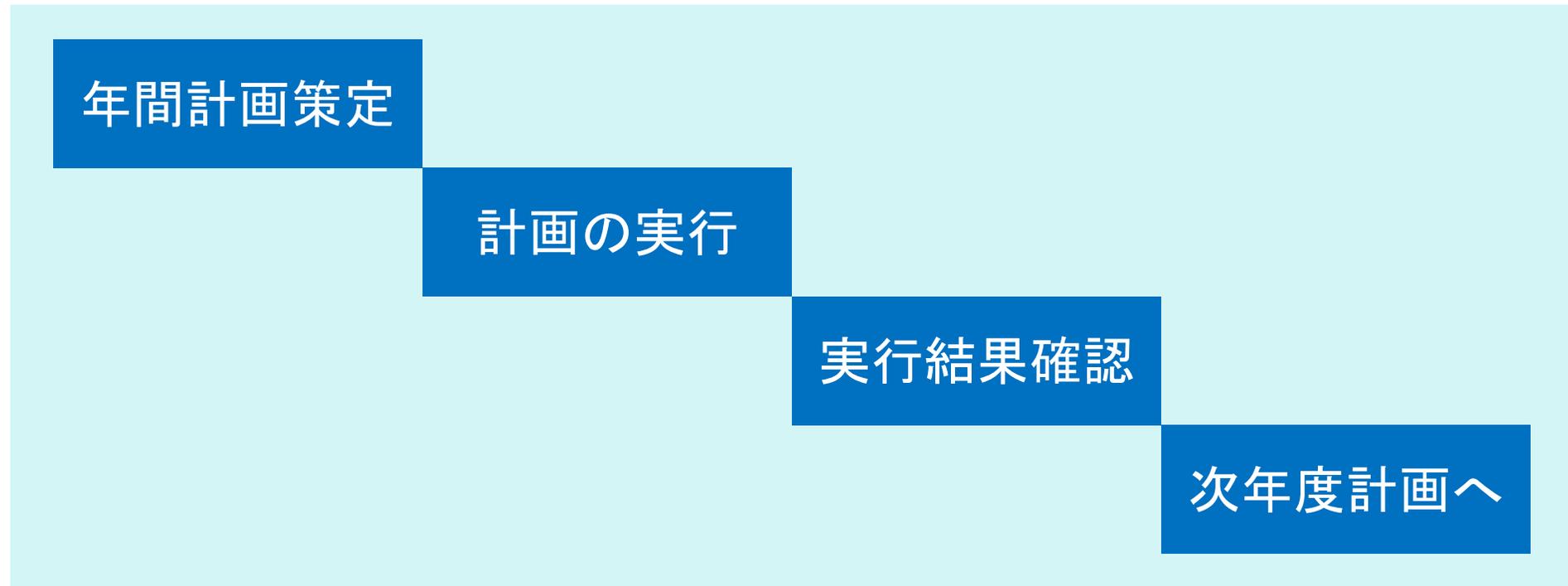
～台風など風水害の場合～

- 避難所の増設、担当職員の増員
- 住民以外の滞留者への対応強化
（スペース、備蓄、対応要員）
- 各種施設の浸水防止対策
- 各種施設の早期復旧対策（重要設備の上階への移転や関係業者のリストアップなど）
- 避難情報発信手段の複線化 など

初動対応能力(危機管理能力)の強化

- 防災・BCPに関する教育研修
(幹部職員・管理職向け、一般職員向け)
- 防災・BCPに関する訓練
(対策本部図上訓練、
クロストレーニングなど部署別BCP発動訓練)
- 住民向け防災教育も重要
(オンラインセミナー、地区別勉強会・訓練) など

行政課題＝リスクを管理する体制



防災・BCP上の課題を通常業務に落とし込む

全庁的・組織的な「進捗管理」が必要

- (方法論1) 防災会議への報告事項とする
- (方法論2) BCP委員会の設置、定期開催
- (方法論3) 内部統制委員会の設置、定期開催

平時の確実な課題解決(リスク最小化)
への取組みがBCP(業務継続計画)の本質

内容の無断転載を固く禁じます

ご清聴頂きありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた方に、本日の資料を配布しております。
今後の情報発信に役立てるためにも、ぜひご協力ください。

